

【馬路村】

1人1台端末の利活用に係る計画

1. 1人1台端末をはじめとする ICT 環境によって実現を目指す学びの姿

1人1台端末をはじめとする ICT 環境の活用により、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図り、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善につながることを求められている。

本村では、学習及び校務において、ICT 機器を積極的かつ効果的に活用し、教育の質の向上や一人ひとりを大切にしたい学びの機会の提供に取り組んでいる。今後も ICT 機器を効果的に活用した学習活動の充実を図るとともに、これからの時代を生きるための情報活用能力の向上を目指す。

2. GIGA 第1期の総括

本村では、GIGA スクール構想の下、令和2年度中に村内全小中学校の児童生徒に1人1台端末の整備及び教育用無線 LAN ネットワークの整備が完了した。また、これまでも大型提示装置等の機器の整備を行ってきた。令和3年度からは、小中学校での1人1台端末を用いた授業も開始し、現在では毎日 ICT 環境を活用した授業の展開や、端末の持ち帰りによる家庭学習への活用を行っており、子どもたちの学びのツールとして必要不可欠なものとなっている。

一方で、校務や授業における ICT 活用スキルについては、教職員間で格差が生じていることが課題であり、教職員自身の ICT 活用能力の向上を図るとともに、教科の特徴を踏まえながら授業での ICT 活用場面や活用方法を具体的にイメージできるよう、参加型の研修や教職員同士が積極的に意見交換できる場の提供を支援していく。

3. 1人1台端末の利活用方策

上記の現状を踏まえ、GIGA スクール構想第2期で1人1台端末を適切に更新し、1人1台端末環境を引き続き維持することを前提とし、以下のように利活用を推進する。

(1) 「1人1台端末の積極的活用」

1人1台端末を活用し、児童生徒一人ひとりが広く深く考え、主体的に学ぶ力を身につけることを目指す。また、授業支援ソフトやデジタルドリル等の機能を有効活用し、児童生徒の心の観察を行ったり、児童生徒が意見の共有を図ることで思考の深まりを促す。さらに、1人1台端末の効果的な利用についての研修を実施し、積極的な活用に努める。

(2) 「個別最適・協働的な学びの充実」

1人1台端末を活用した学習課題への取組により、個の理解度や学習進度に合わせたデジタルドリル等の活用や、学習支援アプリの機能を用いて自分の意見をグループや全体に共有することにより、個別最適な学びの充実を図る。また、「調べる」「発表・表現する」「意見交換する」という授業場面に応じた端末の活用を推進し、協働的な学びの充実に努める。さらに、各児童生徒の学びを可視化することで、個に寄り添った支援体制につなげる。

(3) 学びの保証

インターネット接続環境が無い家庭に対し環境整備を行い、学習における家庭間の情報活用格差を改善し、家庭においても1人1台端末を用いた学習ができる環境整備を推進する。また、1人1台端末を活用することで学びの幅を広げ、様々な事情により特別な配慮が必要な場合においては、その実態やニーズに応じた支援を構築し、児童生徒の学習機会を確保する。